

授業科目	作業療法臨床実践法（オスキー）1	3 学年・前期・1 単位（30 時間）	
		作業	必修

科目担当責任者	太田久晶（保健医療学研究棟 E512 号） e-mail : hisoh@sapmed. ac. jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	中村裕二、森元隆文、齊藤秀和、作業療法学科教員		
概要	臨床現場では、対象者へ適切に関わりながら、検査や面接の実施が求められる。そこで、本科目では、実際の患者を想定した状況で検査や面接の課題に取り組み、実践能力の向上を目指す。学習の到達度については、Basic OSCE (Objective Structured Clinical Examination : 客観的臨床応用能力試験) を用いた評定を行い、検査や面接技法に併せて、臨床に望ましい身なりや態度、マナーについての習得状況も確認する。また、Basic OSCE 後には、試験課題に対する振り返りを実施し、学生自身が問題点に気づき、その対処方法を学ぶことで、更なる知識や技術の深まりを目指す。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床実習生として相応しい身なりと態度で模擬患者に接し、良好な関係を構築することができる。 2. 身体障害・高齢期領域の模擬患者に対して適切な動作の誘導・介助、そして、評価を実施することができ、得られた結果を報告することができる。 3. 精神障害領域の模擬患者に対して適切な面接・評価を実施することができ、得られた結果を報告することができる。 4. 臨床技能や対象者への接遇などの自己の問題点を認識し、それに対する改善策を述べることができる。 		
関連科目	作業療法評価学2、身体障害作業療法学、精神障害作業療法学、高齢期作業療法学、作業療法臨床実践法(オスキー)2		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	実技試験	70%	実技試験および、レポート課題の成績を合計した点数で判定を行う。
	レポート	30%	
教科書	指定なし		
参考書	①才藤栄一 監修 [2015年・6,050円] 「PT・OTのための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定 編」 金原出版 ②才藤栄一 監修 [2017年・6,050円] 「PT・OTのための臨床技能とOSCE 機能障害・能力低下への介入編」 金原出版		
履修上の留意点	Basic OSCE は臨床実習3に向けた準備として取り組むこと。講義の開催日に変更がある場合は、通知文を掲示する。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	オリエンテーション: 本科目の実施目的、学習方法、実技試験(Basic OSCE)の実施方法、および、評定方法、履修上の留意事項 課題内容に基づいた実技演習: 身体障害・高齢期領域 1	事前: 配布資料を熟読し、課題の設定条件および実施内容を把握 事後: 課題に応じた対応方法の練習	講義・演習	太田・齊藤
2	課題内容に基づいた実技演習: 身体障害・高齢期領域 2	事前: 配布資料を熟読し、課題の設定条件および実施内容を把握 事後: 課題に応じた対応方法の練習	〃	〃
3	課題内容に基づいた実技演習: 身体障害・高齢期領域 3	事前: 配布資料を熟読し、課題の設定条件および実施内容を把握 事後: 課題に応じた対応方法の練習	〃	〃
4	課題内容に基づいた実技演習: 身体障害・高齢期領域 4	事前: 配布資料を熟読し、課題の設定条件および実施内容を把握 事後: 課題に応じた対応方法の練習	〃	〃
5	課題内容に基づいた実技演習: 身体障害・高齢期領域 5	事前: 配布資料を熟読し、課題の設定条件および実施内容を把握	〃	〃

		事後：課題に応じた対応方法の練習		
6	課題内容に基づいた実技演習：身体障害・高齢期領域 6	事前：配布資料を熟読し、課題の設定条件および実施内容を把握 事後：課題に応じた対応方法の練習	〃	〃
7	課題内容に基づいた実技演習：精神障害領域 1	事前：配布資料を熟読し、課題の設定条件および実施内容を把握 事後：課題に応じた対応方法の練習	〃	森元
8	課題内容に基づいた実技演習：精神障害領域 2	事前：配布資料を熟読し、課題の設定条件および実施内容を把握 事後：課題に応じた対応方法の練習	〃	〃
9	課題内容に基づいた実技演習：精神障害領域 3	事前：配布資料を熟読し、課題の設定条件および実施内容を把握 事後：課題に応じた対応方法の練習	〃	〃
10	課題内容に基づいた実技演習：精神障害領域 4	事前：配布資料を熟読し、課題の設定条件および実施内容を把握 事後：課題に応じた対応方法の練習	〃	〃
11	課題内容に基づいた実技演習：精神障害領域 5	事前：配布資料を熟読し、課題の設定条件および実施内容を把握 事後：課題に応じた対応方法の練習	〃	〃
12	課題内容に基づいた実技演習：精神障害領域 6	事前：配布資料を熟読し、課題の設定条件および実施内容を把握 事後：課題に応じた対応方法の練習	〃	〃
13	フィードバックセミナー：評価者からの学生全体に向けた課題遂行に関するフィードバック	事前：課題に応じた対応方法の練習 事後：課題内容に対する振り返り	〃	太田・中村・森元・齊藤・作業療法学科全教員
14	Basic OSCE 後セミナー1：Basic OSCE で撮影されたビデオを各学生が視聴し、各自が取り組めた点、および、修正すべき点を振り返る	事後：リフレクション用紙の記入	〃	〃
15	Basic OSCE 後セミナー2：Basic OSCE で撮影されたビデオを各学生が視聴し、各自が取り組めた点、および、修正すべき点を振り返る	事後：リフレクション用紙の記入	〃	〃